

算数オンライン塾 9月1日の問題解説

(1) $A:B=100\text{円}:150\text{円}=2:3$ なので、同じお金で買える個数の比は $3:2$ です。差の1が16個になるので、 A は $16\times 3=48$ 個買えます。準備したお金は $100\times 48=4800$ 円

(答え) 4800円

(2) C の方が高いので、間違えて買っておつりをもらえたから、予定した個数は C の方が多かったことがわかります。 B と C を逆にすると、 C の多い分 $\times(180-150)$ の差が出ます。

$360\div 30=12$ 個ですから C の方が12個多い予定でした。

$7440-180\times 12=5280$ $5280\div(150+180)=16$ が B の個数です。

(答え) 16個

(3) A と B を逆にすると $9010-8710=300$ 円余るので、 B の方が高いですから、 $300\div(150-100)=6$ から最初の予定は B の方が6個多く買うことになっていました。

A と C を逆にすると、 $9010-7890=1120$ 円余るので、 C の方が高いですから、 $1120\div(180-100)=14$ から最初の予定は C の方が14個多く買うことになっていました。

したがって買う予定の A の個数を【1】とすると、 B は【1】+6、 C は【1】+14ですから

$100\times【1】+150\times(【1】+6)+180\times(【1】+14)$
 $=430\times【1】+900+2520=【430】+3420=9010$

$(9010-3420)\div 430=13$

(答え) 13個